

岩手医科大学倫理審査委員会記録

1. 開催日時：2026年1月8日（木）16時30分から17時02分まで
2. 開催場所：矢巾附属病院10階大会議室・内丸1号館3階大会議室（テレビ会議）
3. 出席・欠席者：別紙のとおり
4. 議 事：

（1）倫理申請に係る審査 2件 資料3-1、3-2 iPad

石垣委員長の司会進行で、以下のとおり審議した。なお、委員会の開催に先立ち、審査の種類及び審査件数並びに委員会の成立について確認した。

1) 受付番号：MH2025-116

課 題：クラゾセンタン投与中のサクビトリルバルサルタン併用による腎保護効果

申請者：脳神経外科学講座 教授 赤松 洋祐

研究統括責任者：脳神経外科学講座 教授 赤松 洋祐

主任研究者：脳神経外科学講座 教授 赤松 洋祐

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：藤本助教（研究者以外））のうえ審査した結果、本課題を「継続審査（迅速審査②による再審査）」とした。

【審議内容】

- ・申請書 11. 1. 対象者に生じる負担並びに予想されるリスク及び利益について、計画書は8ページではなく7ページに修正すること。
- ・申請書 13. 2. 1. 試料の保管及び廃棄について、本研究では診療として採血すると思われるので「該当なし」に修正すること。
- ・研究計画書 知的財産権について、知的財産権が発生した場合の所有権に関して記載が見受けられないので、研究計画書様式を参考に項目を設けて記載すること。
- ・研究計画書 対照群について、比較についてはプロペンシティスコアマッチングなどを実施する必要があると思われるので、検討のうえ該当箇所に記載すること。なお、プロペンシティスコアマッチングを実施しない場合は理由を説明すること。
- ・研究計画書 目次について、「1」は3ページではなく2ページ、「7」は6ページではなく7ページにそれぞれ修正すること。（他の修正箇所の影響も考慮し確認すること。）
- ・研究計画書 3. 適格基準について、コントロール不良の定義を130/80mmHg以上としているが、その血圧をどの時点でどう評価するのか明確に記載すること。
- ・研究計画書 3. 適格基準について、医療機関名、診療科、対象となる期間など母集団や適格基準に盛り込むことは不要か再度検討すること。なお、不要な場合は理由を説明すること。
- ・研究計画書 7. 研究スケジュールについて、「服用薬に」は「服用薬の」と思われるので修正すること。
- ・研究計画書 12. 2. 1. 患者への説明について、説明文書の項目数と異なるので確認のうえ修正すること。
- ・研究計画書 13. プロトコルの改訂について、「。改定前に・・・」以降の文章は記載不要と思われるので削除すること。
- ・研究計画書 18. 研究資金ならびに謝礼について、事前審査の回答内容から、使用する研究費は「脳神経外科学講座の講座研究費」に修正すること。
- ・研究計画書 20. 記録の保存について、事前審査の回答内容から、「血液試料は研究終了報告書提出後に廃棄する」という文章は削除すること。
- ・説明文書 9. 費用負担・謝礼について、「研究費」は「講座研究費」に記載を修正すること。
- ・同意書について、本文と項目数が異なるので、確認のうえ修正すること。
- ・情報公開文書 4. 研究費および利益相反について、事前審査の回答内容から、使用する研究費は講座研究費のみになると思われるので修正すること。
- ・情報公開文書 4. 研究費および利益相反について、「研究者は」という記載が重複しているので、一方を削除すること。

- ・情報公開文書について、研究責任者を記載すること。

2) 受付番号：MH2025-117

課 題：病児・障害児の療養環境における演劇鑑賞の効果検証

申請者：成育看護学講座 教授 高橋 亮

研究統括責任者：成育看護学講座 教授 高橋 亮

主任研究者：成育看護学講座 教授 高橋 亮

総合診療医学講座 研究員 池田 朋

分担研究者：(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：高橋教授（研究責任者））のうえ審査した結果、本課題を「継続審査（迅速審査②による再審査）」とした。

【審議内容】

- ・研究計画書 演劇鑑賞について、研究対象者以外の患者等の参加も認めるのか、分かるように記載すること。
- ・研究計画書 0. 1. シェーマについて、対象者を絞り込んで進めていくことが分かるように矢印の上部にその説明を記載するなど分かりやすくなるように検討すること。
- ・研究計画書 0. 3. 対象、3. 対象について、「病児」「障害児」「患児」「入院時」が混在するので可能な限り統一すること。
- ・研究計画書 7. 3. 2. 1. 個人情報等の有無について、③は情報単体から特定の個人を識別できる符号（文字、番号、記号など）として、政令で定められたものを指すため、「録画による顔画像」は該当しないと思われるので修正すること。
- ・説明文書 4. この研究の対象となる方について、調査ごとに人数が異なるので調査ごとの人数を記載すること。
- ・資料 3) ～11) まで、ファイル名の資料番号とヘッダーの数字が異なるので修正すること。

(2) 報告事項

1) 12 月委員会議事録 資料 4 iPad

石垣委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。

2) 研究実施状況報告書（終了報告・経過報告） 18 件 資料 5 iPad

石垣委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。

【医学部】

承認番号：HG2018-507（2018 年 9 月 6 日承認）

研究課題名：中性脂肪蓄積心筋血管症の遺伝的基盤に関する研究

研究責任者：医学教育学講座地域医療学分野/内科学講座循環器内科分野 教授 伊藤 智範

報告の種類：終了報告

承認番号：HG2019-007（2019 年 7 月 24 日承認）

研究課題名：腎癌における網羅的な遺伝子探索研究

研究責任者：泌尿器科学講座 教授 小原 航

報告の種類：経過報告

承認番号：HG2020-038（2021 年 2 月 3 日承認）

研究課題名：希少腫瘍の発症・予後に関する遺伝子の網羅的解析研究

研究責任者：泌尿器科学講座 教授 小原 航

報告の種類：終了報告

承認番号：HG2021-021（2021 年 12 月 24 日承認）

研究課題名：サルコメア蛋白遺伝子のエピゲノム異常に着目した拡張型心筋症の病因解明

研究責任者：内科学講座循環器内科分野 助教 那須 崇人
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2018-623（2019年3月7日承認）
研究課題名：心電図カード登録システムによる急性心筋梗塞早期診断参照システム開発パイロット研究
研究責任者：医学教育学講座地域医療学分野 教授 伊藤 智範
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2019-169（2020年2月6日承認）
研究課題名：急性心筋梗塞を合併した急性大動脈解離の多施設後ろ向き研究
研究責任者：医学教育学講座地域医療学分野 教授 伊藤 智範
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2020-183（2021年1月7日承認）
研究課題名：慢性疼痛患者を対象とした漢方薬治療の効果に関する前向き介入前後比較研究
研究責任者：麻酔学講座 教授 鈴木 健二
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2020-225（2021年3月4日承認）
研究課題名：急性心筋炎・劇症型心筋炎に関する後ろ向き観察研究
研究責任者：医学教育学講座地域医療学分野 教授 伊藤 智範
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-051（2023年1月6日承認）
研究課題名：経皮的補助人工心臓(Impella)における一酸化窒素吸入療法の効果
研究責任者：内科学講座循環器内科分野 助教 那須 崇人
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-097（2023年12月2日承認）
研究課題名：チン小帯脆弱・断裂例のCTRとOptic captureを用いた眼内レンズの固定状態の検討
研究責任者：眼科学講座 講師 木澤 純也
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-052（2024年1月25日承認）
研究課題名：非小細胞肺癌におけるPD-L1発現率と局所進行因子の関連に関する研究
研究責任者：呼吸器外科学講座 教授 齊藤 元
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-114（2024年4月15日承認）
研究課題名：老人環と白内障手術における創口の自己閉鎖についての検討
研究責任者：眼科学講座 教授 黒坂 大次郎
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2024-077（2024年10月29日承認）
研究課題名：転移性腎細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用療法後のcytoreductive nephrectomyの有用性および予後因子の探索研究
研究責任者：泌尿器科学講座 講師 加藤 廉平
報告の種類：経過報告

承認番号：MH2024-152（2025年4月18日承認）
研究課題名：複合性局所疼痛症候群患者において予後予測の指標となる因子に関する研究

研究責任者：麻酔学講座 教授 鈴木 健二
報告の種類：終了報告

【医歯薬総合研究所】

承認番号：MH2022-170（2023 年 5 月 9 日承認）
研究課題名：唾液および微量血液を用いた DNA メチル化解析手法の確立
研究責任者：医歯薬総合研究所 生体情報解析部門 教授 清水 厚志
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-024（2023 年 9 月 20 日承認）
研究課題名：グループ化による膠原病の疾患横断的な遺伝的リスク要因の検出
研究責任者：医歯薬総合研究所 生体情報解析部門 教授 清水 厚志
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-129（2024 年 4 月 30 日承認）
研究課題名：膵がん早期診断のための DNA メチル化バイオマーカーの開発と検証
研究責任者：医歯薬総合研究所 生体情報解析部門 教授 清水 厚志
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2025-017（2025 年 5 月 27 日承認）
研究課題名：唾液および血液由来 DNA メチル化情報に基づく生物学的年齢の変動の観察と要因の検討
研究責任者：医歯薬総合研究所 生体情報解析部門 教授 清水 厚志
報告の種類：終了報告

- 3) 迅速審査及び承認済研究課題の実施計画変更・追加申請の審査結果報告 12 月 28 件 資料 6 iPad
石垣委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。また、現時点で承認となっていない研究課題が計 5 件ある旨あわせて報告があった。

以上

迅速審査（新規申請：1月8日判定分）審査結果

倫理審査委員会規程に基づいた迅速審査により、数名の倫理審査委員会委員による書面審査にて、下記の申請案件を判定した。

1)

受付番号	MH2025-078
課題名	岩手医大におけるぶどう膜炎の統計
申請者	眼科学講座 教授 黒坂 大次郎
研究統括責任者	眼科学講座 特任准教授 橋爪 公平
主任研究者	眼科学講座 特任准教授 橋爪 公平

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（丹野高三副委員長、黒田英克委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書7について、最後の「研究責任者・分担者ともに」は「研究者」に修正すること。
- ・計画書0.3について、母集団の記載が無いので、計画書3の記載と統一して0.3.1母集団、0.3.2適格基準、0.3.3除外基準に整理して記載すること。
- ・計画書5.1について、2文目「2015年1月1日から～」以降の記載は不要なので1文目のみ残し、その他を削除すること。
- ・計画書7.9について、計画書内に7.9が欠番となっているため、項目番号を整理すること。また、目次も合わせて修正すること。
- ・計画書8について、橋爪先生は研究責任者として記載があるため、研究分担者の記載は削除すること。
- ・情報公開文書について、研究課題名が異なるため、正しい研究課題名を記載すること。
- ・情報公開文書について、研究対象者について項目を設けて記載すること。
- ・情報公開文書5について、「匿名化」は廃止された用語のため、「個人を特定できないように加工」などの表現に言い換えること。
- ・情報公開文書5について、情報の保存、廃棄、二次利用について、情報公開文書の様式を参考に追記すること。
- ・情報公開文書6について、「匿名化」は廃止された用語のため、「個人を特定できないように加工」などの表現に言い換えること。
- ・情報公開文書8について、使用する研究費を追記すること。
- ・情報公開文書9について、電話番号は代表のものではなく、内線番号を記載すること。

2)

受付番号	MH2025-109
課題名	術後鎮痛に対する患者管理型静脈鎮痛法の検討 -フェンタニルとモルヒネの比較-
申請者	麻酔学講座 教授 鈴木 健二
研究統括責任者	麻酔学講座 特任教授 熊谷 基
主任研究者	麻酔学講座 教授 鈴木 健二 麻酔学講座 特任教授 熊谷 基 麻酔学講座 助教 畠山 知規
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（田浦太志委員、遠藤龍人副委員長）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書5について、本項目は申請書の申請者と研究責任者が該当することから、研究責任者の熊谷先生も追加すること。
- ・申請書6.5について、実際にデータを扱う場所(麻酔学講座医局、など)を記載すること。

- ・申請書 9.1.2.2 について、手続きの項目にチェックが無いので、「□本研究は文書又は口頭による同意取得の手続きを行うことが困難なものであり、そのため「倫理指針」に従い、研究に関する情報を公開し、対象者が拒否できる機会を保障（オプトアウト）する。」にチェックし、公開場所を記載すること。
- ・申請書 13.2.2 の A 情報・資料の名称について、情報の資料の名称（診療情報、症例報告書、研究対象者と研究用の番号（ID）を結びつける情報）を記載すること。
- ・申請書 13.2.2 の C 保管終了予定年月日について、計画書 8.3.5.1. に「研究終了日から 5 年／結果公表日から 3 年」と記載があるため、2031 年 3 月 31 日となるのではないかと確認のうえ修正すること。
- ・申請書 13.2.2 の E 被験者等から得た同意の内容について、同意を得る内容（情報を研究終了日から 5 年／結果公表日から 3 年保管し、他の研究に二次利用を行う可能性がある）について記載すること。
- ・申請書 13.2.2 の F 匿名化の方法について、「匿名化し対応表を作成する」を選択し、理由の欄には、「研究参加拒否の申し出があった際に対応するため」などと記載すること。
- ・申請書 16 について、現在岩手医科大学と記載があるが、計画書 12 には「その権利は研究者あるいは岩手医科大学に帰属する」と記載があるので、修正すること。
- ・計画書表紙の作成履歴について、「（ヘッダーの Ver と記載を合わせて、適宜更新する）」はテンプレートの説明部分なので削除すること。
- ・計画書 0.2 と 1 の記載が異なるため統一すること。
- ・計画書 0.3.1 および 3.1 適格基準について、「2024 年 12 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日まではモルヒネ IV-PCA 群、2025 年 3 月 1 日～2025 年 5 月 30 まではフェンタニル IV-PCA 群とした。」の記載は、0.2. 目的で、フェンタニルの供給制限を受けてモルヒネに変更したと記載されており、期間と薬剤の対応が一致していないことから、正しくは、「2024 年 12 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日まではフェンタニル IV-PCA 群、2025 年 3 月 1 日～2025 年 5 月 30 まではモルヒネ IV-PCA 群とした。」ではないかと確認のうえ適宜修正すること。
- ・計画書 0.4 と 4.1 の症例数の記載を統一すること。
- ・計画書 2.1 背景について、研究の意義を他分野の研究者や非専門家が理解できるよう、本研究に関連しての現状や問題となっていることを記載すること。
- ・計画書 2.3.1 について、直接の利益の有無を追記すること。
- ・計画書 5.3.2 調査項目について、研究 ID は研究目的で使用する情報ではないため、削除すること。
- ・計画書 5.3.2 調査項目について、「pfel score」は誤記と思われるため「Apfel score」に修正すること。
- ・計画書 5.4 解析期間について、「登録期間終了後～」とあるが、「登録期間」の記載が無い。後ろ向きの研究であることから、計画書 0.4 の記載と合わせて、「研究期間：研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日」、「対象期間：2024 年 12 月 1 日～2025 年 5 月 30 日」のみの記載に修正すること。
- ・計画書 8.2.1 について、*PONV の説明は計画書 5.3.1 にあり、本項目への記載は不要と思われるため削除すること。
- ・計画書 8.6 について、遺伝子解析行うのか。行わない場合は該当しないため、「該当しない」などと記載すること。
- ・情報公開文書について、研究課題名が異なるため、正しい研究課題名を記載すること。

3)

受付番号	MH2025-114
課題名	人工知能を用いた智歯と上顎洞との位置関係精査
申請者	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 教授 山田 浩之
研究統括責任者	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 准教授 大橋 祐生
主任研究者	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 准教授 大橋 祐生 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 大学院生 柴田 滉太郎
分担研究者	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 教授 山田 浩之 口腔顎顔面再建学講座歯科放射線学分野 教授 田中 良一

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（丹野高三副委員長、原田英光委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- 申請書 6.5 について、歯科医療センター内のどこで実施するか具体的に記載すること（口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野医局、など）。
- 申請書 7 について、個人情報を使用するからどうするのか、対策まで記載すること。
- 申請書 8.1.1 取扱う情報の種類について、個人識別符号にチェックしているが、要配慮個人情報が該当するため、チェックを修正すること。
- 申請書 10 について、計画書 8.2.1 に「代諾者が」と記載があるため、「該当あり」をチェックし、詳細を記載すること。
- 申請書 13.2.2 の C 保管終了予定年月日について、計画書 8.3.5.1. で「研究終了日から 5 年」の記載があるため、修正すること。
- 申請書 16 について、計画書 12. 「その権利は岩手医科大学に帰属する。」の記載があるため、「該当あり」に修正すること。
- 計画書表紙の作成履歴について、version1.1 の「改定」は「改訂」に修正すること。
- 計画書 0.3 対象について、計画書 3. の記載（母集団、適格基準、除外基準）と揃えること。
- 計画書 0.3.1 および 3.1 の母集団について、対象となる期間を追記すること。
- 計画書 0.4 および 5.4 の研究期間について、解析する期間が 1 日しかないが、3 月 1 日ですべて終わらせるのか。登録期間、解析期間、(総)研究期間について、再度検討すること。
- 計画書 2.3.2 について、「匿名化」は廃止された用語のため、「個人を特定できないように加工」などの表現に言い換えること。
- 計画書 5.7 解析方法について、6 行目「その結果を CBCT で歯科放射線科が判断したもの（歯科放射線科の読影レポート）と比較し」に修正すること。
- 計画書 5.7 解析方法について、解析に用いる既存の分類モデルについて具体的に記載すること。
- 計画書 6.1 について、症例記録（調査票）と一覧表は別のものか。一覧表は CRF に該当するのか。計画書の様式を参考に記載を修正すること。また、CRF を作成する場合は、別途 CRF のフォーマットを作成しその他添付資料に添付すること。CRF を作成しない場合は、「CRF は作成せず、一覧表で管理する。」などと記載し、6.2～6.4 の記載を見直すこと。
- 計画書 8.2.1 について、「代諾者が」と記載があるが代諾者を置くのか。確認のうえ、適宜修正すること。
- 計画書の項目として、計画書の様式を参考に「14. 付表」の項目を追加し、「情報公開文書」と記載すること。また、6.1 の指摘に関係するが、「一覧表」などを扱う場合はその資料名も追記すること。
- 情報公開文書について、項目番号が無くなり非常に読みにくくなったため、1 つ前で使用していた様式に戻すこと。
- 情報公開文書は、システム上で「その他添付資料」ではなく、「情報公開文書」の欄に添付すること。
- 情報公開文書 1 対象の期間について、2027 年 2 月 28 日までと思われるため、修正すること。
- 情報公開文書 4 について、一部フォントが異なるため統一すること。
- 情報公開文書 4 について、情報は保存と思われるため修正すること。
- 情報公開文書 4 について、二次利用の可能性がある場合、「現時点では二次利用の予定はない」の記載は不要であるため削除すること。
- 情報公開文書 6 について、「もしくは患者さんの代理人の方」と記載があるが、代諾者をおく研究なのか。他の代諾者についての指摘と合わせて適宜修正すること。
- 情報公開文書 6 について、「研究責任者」についても追記すること。

4)

受付番号	MH2025-118
課題名	肝硬変患者における体組成および握力と予後との関連に関する多施設共同後ろ向き研究

申請者	内科学講座消化器内科分野 教授 松本 主之
研究統括責任者	内科学講座消化器内科分野 准教授 柿坂 啓介
主任研究者	内科学講座消化器内科分野 准教授 柿坂 啓介 内科学講座消化器内科分野 助教 遠藤 啓
分担研究者	内科学講座消化器内科分野 特任教授 黒田 英克 岐阜大学大学院医学研究科消化器内科分野 教授 清水 雅仁

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（伊藤智範副委員長）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書 13. 2. 2 の F 理由について、「研究参加拒否の申し出があった際に対応するため」等の記載に修正すること。
- ・申請書 16 について、計画書 12. は「岩手医科大学に帰属する」と記載があるため修正すること。
- ・計画書について、事前審査の際、岐阜大学の研究とは関係ないと回答があったが、同様の課題名で岐阜大学が先行して研究を実施しており、本研究を立案するうえでその先行研究を参考とした場合は、2. 2 研究の科学的合理性の根拠などに記載する必要はないか。再度確認すること。
- ・計画書の表紙について、計画書 8. 8 を参考に、version1. 0 は「作成」、version 1. 1 は「改訂」と記載すること。
- ・計画書 3. 1 母集団について、対象期間は「～2025 年 12 月 31 日」と思われるため、他項目も確認のうえ修正すること。また、「日」の記載が抜けているため、正しく記載すること。
- ・計画書 5. 5 主要評価項目について、本研究の目的「肝硬変患者において、体組成および握力の性差による予後への影響を明らかにすることを目的とする。特に、内臓脂肪と皮下脂肪の分布および握力・骨格筋量を連続変数として捉え、restricted cubic spline(RCS)を用いた非線形解析により、性別ごとのリスク構造を明確化する。」を明らかにするために最も重要な項目が「全生存期間」でよいか、確認すること。
- ・計画書 8. 3. 4 の(1)について、情報を双方でやりとりすることから、提供元の機関および提供先の機関に岩手医科大学のことも追記すること。
- ・計画書 9. 5 について、「研究代表者」は「研究責任者」に修正すること。
- ・情報公開文書 4 について、「匿名化」は廃止された用語のため、使用せず「個人が特定されないように加工」など具体的な表現に言い換えること。
- ・情報公開文書 7 について、「本研究は岩手医科大学内科学講座消化器内科分野の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。」の記載に修正すること。
- ・情報公開文書 8 について、研究代表者は柿坂先生と思われるので修正すること。
- ・迅速審査依頼書は提出が不要となった書類のため、システムの添付資料から削除すること。

5)

受付番号	MH2025-119
課題名	急性心筋梗塞患者における GDMT (Guideline-Directed Medical Therapy) 実装と長期予後の検討：岩手医科大学関連施設による多施設前向きレジストリ：REIWA Registry Cohort-2
申請者	内科学講座循環器内科分野 教授 森野 禎浩
研究統括責任者	内科学講座循環器内科分野 助教 二宮 開
主任研究者	内科学講座循環器内科分野 助教 二宮 開
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（遠藤龍人副委員長、廣瀬清英委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書について、本研究で情報公開文書を扱うことから、「□情報公開文書に記載」のチェッ

クが必要な箇所はチェックすること。

- ・申請書 6.2 について、Historical control 群のことも追記すること。
- ・申請書 6.3 について、研究方法を記載すること。また、Historical control 群のことも追記すること。
- ・申請書 6.4 について、Historical control 群のことも追記すること。
- ・申請書 9 について、Historical control 群のことも追記が必要なため「オプトアウト方式の場合」にもチェックすること。
- ・申請書 9.1.2.2 について、Historical control 群が本項目のオプトアウトの対応に該当するためチェックすること。
- ・申請書 9.1.3 について、説明文書による同意とオプトアウトの対応を両方行うことから、9.1.3 の「その他」にチェックすること。方法と理由には、「前向きの対象者は当該試料・情報に関するインフォームド・コンセントの内容、当該試料・情報の提供元機関の名称及び住所並びにその長の氏名等、当該試料・情報の取得の経緯を確認する。Historical control 群は当該試料・情報の提供元機関において、「倫理指針」第 8 の 1 (3) の規定による措置を講じたため、当該研究に関する情報を公開し、対象者が拒否できる機会を保障（オプトアウト）する。」と記載すること。また、あわせて公開場所も記載すること。
- ・申請書 10 について、Historical control 群は、（具体的な手続き方法）の「E. その他 ⇒ 対処方法（倫理指針第 8 の 7 の事例を含む）と理由を具体的に研究計画書に記載すること。」に該当することから、C と E にチェックが入るように修正すること。
- ・計画書 0. 概要の主要評価項目「2 年時点の 4P-MACE」について、総死亡、心筋梗塞、脳卒中、予定外の結構再建の 4 項目から構成されるイベント発生とのことだが、4 つのいずれかが発生すればイベント有とする「複合エンドポイント」という意味か。正確に解釈できるような記載に修正すること。
- ・計画書 5 について、Historical control 群の記載が無いことから、研究対象者（対象母集団）、目標症例数、目標症例数の設定根拠、選択基準（Inclusion criteria）、除外基準（Exclusion criteria）、同意の撤回など各項目に追記すること。計画書 6.2. の研究デザインで触れているが、主要エンドポイント（2 年 4P-MACE）を確定するために、診療録調査および電話連絡等で予後追跡を行うことから、今回の前向き登録例とは別に記載すること。
- ・計画書 7 について、事前審査の際に CRF は作成せず、EDC を用いて情報を管理すると回答があったが、CRF の記載があるため、確認のうえ削除すること。（該当箇所：7.4 追跡方法 6 行目、7.4.1CEC による事象評価 4 行目、7.5 早期脱落者の扱い 4 行目）
- ・計画書 12.8 の 2 行目について、共同研究「期間」は「機関」の誤記のため修正すること。
- ・同意書について、項目の 19 の後に、14 があるため、修正すること。
- ・同意撤回書について、項目の 19 の後に、14 があるため、修正すること。
- ・情報公開文書 2 について、研究「機関」の記載は誤記のため、「期間」に修正すること。
- ・研究計画書および説明文書において、自己申告、大学管理情報と記載内容が異なっている。状況を整理して本研究に関係する企業との利益相反を判断できるよう記載すること。（条件の詳細：利害関係企業のうち、アムジェン株式会社、ニプロ株式会社より森野教授が開示基準額以上の講演等謝金を得ていることを各文書にて開示すること。）
- ・倫理教育未受講の研究者は、研究開始前までに受講し、報告すること。（助言）
- ・研究者が利害関係企業より講演等謝金を得ていることから、研究結果に偏りが発生しないよう留意すること。（助言）

6)

受付番号	MH2025-120
課題名	新規 ADL チェックリストを用いたパーキンソン病患者のアンメットニーズ抽出に関する探索的研究
申請者	内科学講座脳神経内科・老年科分野 教授 前田 哲也
研究統括責任者	内科学講座脳神経内科・老年科分野 教授 前田 哲也
主任研究者	内科学講座脳神経内科・老年科分野 教授 前田 哲也 内科学講座脳神経内科・老年科分野 講師 高橋 真
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（伊藤智範副委員長、遊田由希子委員）による書面審査を行った結果、本課題を承認とした。

【審議内容】

- ・特に意見は寄せられなかった。

7)

受付番号	MH2025-121
課題名	逆行性脳還流併用、中等度低体温下、循環停止下での上行大動脈置換術後の脳梗塞患者における頭部 MRI 画像の検証
申請者	心臓血管外科学講座 教授 金 一
研究統括責任者	心臓血管外科学講座 教授 金 一
主任研究者	心臓血管外科学講座 教授 金 一
分担研究者	心臓血管外科学講座 助教 齋藤 大樹

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（櫻庭実委員、黒田英克委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書 6 について、本研究は症例対照研究に該当しないと思われる。本研究のデザインとして適切なものを選択すること。
- ・申請書 7 について、情報の取り扱いなど倫理的な要点を具体的に記載すること。
- ・申請書 10 について、「計画書 14 ページに記載」とあるが、14 ページには代諾者について記載がないため、修正すること。
- ・申請書 10（対象者）について、計画書 8.2.1 の記載から D の他に F も該当すると思われるため、チェックすること。
- ・申請書 10（具体的な手続き方法）について、情報公開による参加拒否の機会を保障するため、C は該当しないと思われる。E にチェックを修正すること。
- ・申請書 11.1 について、計画書 9 ページに記載と書いてあるが、7 ページの誤りではないか。ページ数を確認のうえ修正すること。
- ・申請書 11.2 について、計画書 9 ページに記載と書いてあるが、7 ページの誤りではないか。ページ数を確認のうえ修正すること。
- ・申請書 13.2 について、「該当あり」に修正すること。計画書の 9 ページに記載があるので、ページ数も記載すること。
- ・申請書 13.2.2 について、「該当あり」の下「☐研究終了報告書提出後試料および臨床情報に関する手順書に従い廃棄する」にチェックすること。
- ・計画書表紙の作成履歴について、version2.0 は作成ではなく「改正」に修正すること。
- ・計画書 0.1 の 1 つ目の箱について、必要な記載が事前審査の際に削除されたため、「岩手医科大学附属病院心臓血管外科にて 2017 年 4 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日までに上行大動脈置換術を施行した患者のうち、術後脳梗塞となり、頭部 MRI 画像を撮像した 9 名」に修正すること。
- ・計画書 0.2 と 1 の目的の記載が異なるため統一すること。
- ・計画書 0.2 および 1 目的について、対象が 9 例のみで「原因」や「メカニズム」を検討することは科学的に困難ではないか。「術後脳梗塞の画像所見の特徴を記述する探索的研究」など、実現可能な目的に修正すること。
- ・計画書 0.3.1 と 3.1 の母集団の記載について、母集団は「2017 年 4 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日までに胸部大動脈瘤または急性/慢性大動脈解離に対して、上行大動脈置換術を実施した患者」となるのではないかと確認のうえ修正し、0.3.1 と 3.1 の記載を統一すること。
- ・計画書 0.3.2 と 3.2 の適格基準について、適格基準 1 つ目が「術後脳梗塞を発症した患者」、2 つ目が「脳梗塞発症後に MRI が撮像されている患者」となるのではないかと確認のうえ修正し、また、「性別や年齢を問わず、原疾患に関しても特に限定しない。未成年者は含めない。」は年齢を問わないと未成年は含めないは矛盾していることから、適格基準 3 つ目は「18 歳以上の患者」となるのではないかと整理して記載し、統一すること。
- ・計画書 0.3.3 と 3.3 の除外基準の記載が異なるため、統一すること。

- ・計画書 0.4 の主要評価項目について、5.5. 主要評価項目の記載があり、本項目では不要なため削除すること。
- ・計画書 0.5 について、担当者は「齋藤大樹」と記載があるが、E-mail は「isakiko@iwate-med.ac.jp（今井氏）」で、不整合がある。正しい連絡先に統一すること。
- ・計画書 5.1 研究デザインについて、対照群が存在しないため、症例対照研究には該当しない。本研究のデザインを適切に記載すること。
- ・計画書 5.2 について、「適格基準から除外基準の項目に該当したものを除いて登録」は日本語として意味が通らない。計画書の様式の例文を参考に、適切に書き直すこと。
- ・計画書 5.3 について、5.3 の表および③～⑩は不要のため削除すること。
- ・計画書 5.3.2 調査項目について、術後頭部 MR I 画像に関する調査項目がないため、追記すること。
- ・計画書 5.5 主要評価項目について、5.3⑦アウトカムでは「周術期脳合併症、在院死亡、全死亡、大動脈イベント」と記載があり、5.5 では「頭部 MRI 画像で同定できる梗塞巣」と設定されている。計画書内で矛盾しているため、5.5 に適切な主要評価項目を記載すること。
- ・計画書 5.5①および 5.7 について、何をどのように評価するのか、具体的に記載すること。
- ・計画書 5.5②について、不要な記載のため削除すること。
- ・計画書 5.7 解析方法について、MRI 画像の読影を誰が行うか記載がない。放射線科医など第三者による評価、または複数名での読影など、客観性を担保する方法を記載すること。
- ・計画書 8.1 について、ヘルシンキ宣言が改訂になったため、文中の記載および URL の修正すること。

ヘルシンキ宣言（日本医師会訳、第 75 回 WMA 総会（フィンランド、ヘルシンキ）改訂

https://www.med.or.jp/dl-med/wma/202410kaitei_helsinki_j.pdf

- ・計画書 8.2.1 について、下から 2 行目「対象者が研究協力を拒否する～」と事前審査の際に修正されたが、代諾者に関する文章なので「前述の通り心臓血管外科ホームページに公開し、研究協力を拒否する機会を保障する。」に修正すること。
- ・計画書 13 参考文献について、引用文献が 1996 年と 2014 年のみで古いため、逆行性脳還流や MRI 評価に関する最新の文献を追加すること。追加した際に、計画書 2 の内容が変わる可能性があるが、該当箇所を含めて適切に修正すること。
- ・情報公開文書 1 対象について、事前審査の修正で、記載内容が変わったので、「2017 年 4 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日まで上行大動脈置換術を施行した患者のうち、術後脳梗塞となり、頭部 MRI 画像を撮像した方を対象としております。」などの記載に修正すること。
- ・情報公開文書 3 の後半「2017 年 4 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日まで～～になります。」は項目 1 や 2 と内容が重複しているので削除すること。
- ・情報公開文書 4 について、「原疾患、併施術式」は計画書 5.3.2 のどれに該当するのか。本研究で扱う情報の中で主となる「術前 CT」や「頭部 MRI」に関連した情報を記載すること。
- ・情報公開文書 4 について、「匿名化」は廃止された用語のため、「個人を特定できないように加工」などに言い換えること。
- ・情報公開文書 4 について、情報公開文書の様式を参考に、扱う情報、保管、廃棄、二次利用について整理して記載すること。
- ・情報公開文書の作成履歴について、2025 年 12 月 15 日更新分は version1.1 または 2.0 になると思われるため、修正すること。

8)

受付番号	MH2025-122
課題名	健聴者に対する頭部伝達関数信号処理の有効性に関する研究
申請者	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座 教授 中西 啓
研究統括責任者	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座 講師 亀井 昌代
主任研究者	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座 講師 亀井 昌代
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2 名の倫理委員会委員（古山和道委員、高橋弘江委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書の申請者について、現在の所属長に修正すること。
- ・研究の対象について、「患者およびその家族」をリクルートするとあるが、研究者となる医師とその患者（患者の家族）という関係性は強者と弱者に値し、強制力が働く可能性が高い。対象は、一般の方から募集するなど、研究対象及びリクルートの方法について再検討すること。
- ・企業等から本研究に関わりのある研究費、機器等の提供は契約を締結すること。（助言）
- ・研究に対する利益相反があることから、研究結果に偏りが発生しないよう留意すること。（助言）

9)

受付番号	MH2025-123
課題名	亜寒帯地域における節足動物媒介感染症発生率の実態調査
申請者	臨床検査医学・感染症学講座 教授 仲村 究
研究統括責任者	臨床検査医学・感染症学講座 教授 仲村 究
主任研究者	臨床検査医学・感染症学講座 教授 仲村 究
分担研究者	臨床検査医学・感染症学講座 助教 日比谷 健司

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（丹野高三副委員長、田浦太志委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書 13.2.2 の A 情報・資料の名称について、「同意文章」とあるが正しくは「同意文書」なので修正すること。
- ・計画書のヘッダーについて、version を最新の数字に更新すること。
- ・計画書表紙の作成履歴について、version1.1 以降は「作成」ではなく、「改訂」または「改正」となるため、計画書 8.9 を参考に修正すること。
- ・計画書 5.2.1 登録の手順について、項目 3) に「研究代表者または研究分担者が説明文書を用いて口頭で研究内容を説明」とあるが、他機関では当該機関の研究責任者が行うことがわかるように、「研究責任者または研究分担者が」の記載に修正すること。
- ・計画書 5.3 研究方法について、共同研究機関の役割が何か分からないので記載すること。
- ・計画書 5.3 研究方法について、他の項目では臨床研究に関する情報公開ページにも公開すると記載があるため、齟齬がないように修正すること。
- ・計画書 8.3.2.1 の個人情報②について、患者 ID は研究実施の際に加工されており、該当しないため「無」に修正し、具体例の「患者 ID」は削除すること。
- ・計画書 14 について、「情報公開文章」とあるが、正しくは「情報公開文書」なので修正すること。
- ・情報公開文書 4 について、扱う情報に「患者 ID」が追記されたが、研究で扱う情報ではないため削除すること。
- ・情報公開文書 5 について、「対応表」は廃止された用語のため、「個人を特定するための情報（表）」などの表現に言い換えること。
- ・他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する届出書「提供する試料・情報の取得の項目」について、必要な項目にチェックをすること。また、患者 ID は提供しないので削除すること。
- ・他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する届出書「研究対象者の情報」について、患者 ID、性別、年齢、職業ではなく研究用 ID が該当するため、修正すること。
- ・他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する届出書「提供方法」の項目について、具体的な方法を記載すること。
- ・他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する届出書「提供先の機関」の項目について、本学の情報を記載すること。
- ・他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する届出書「研究対象者等の同意の取得状況等」の項目について、必要な項目にチェックをすること。
- ・他の研究機関への試料・情報の提供に関する記録「提供する試料・情報の取得の項目」について、患者 ID は提供しないので削除すること。
- ・他の研究機関への試料・情報の提供に関する記録「研究対象者の情報」について、患者 ID、性

別、年齢、職業ではなく「研究用 ID」が該当するため修正すること。

- ・他の研究機関への試料・情報の提供に関する記録「同意の取得状況」について必要な項目にチェックをすること。
- ・他の研究機関への試料・情報の提供に関する記録「加工の方法、削除した情報の有無」について、必要な項目にチェックをすること。

10)

受付番号	MH2025-124
課題名	自動血球分析装置を用いた血球形態、造血、炎症の評価法の検討
申請者	創薬・医療機器開発部門 教授 仲 哲治
研究統括責任者	創薬・医療機器開発部門 教授 仲 哲治
主任研究者	創薬・医療機器開発部門 教授 仲 哲治 杏林大学保健学部臨床検査技術学科 学内講師 加藤庸介
分担研究者	創薬・医療機器開発部門 准教授 世良田 聡 創薬・医療機器開発部門 特任准教授 鈴木 悠地

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（板持広明委員、岸光男副委員長）による書面審査を行った結果、本課題を承認とした。

【審議内容】

- ・特に意見は寄せられなかった。

11)

受付番号	MH2025-125
課題名	MRI 定量的磁化率マッピングによる頸動脈プラークの高精度性状評価法の確立
申請者	基盤的研究部門 部門長 仲 哲治
研究統括責任者	基盤的研究部門 講師 上野 育子
主任研究者	基盤的研究部門 講師 上野 育子
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（櫻庭実委員、廣瀬清英委員）による書面審査を行った結果、本課題を承認とした。

【審議内容】

- ・特に意見は寄せられなかった。

12)

受付番号	MH2025-126
課題名	白板症における内視鏡診断と病理組織診断の検討
申請者	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 教授 山田 浩之
研究統括責任者	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 教授 山田 浩之
主任研究者	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 教授 山田 浩之 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 講師 平野 大輔
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（板持広明委員、原田英光委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書3 分担研究者について、平野先生は主任研究者として記載があるため、本項目からは削除すること。
- ・申請書6.2について、「初診および再診患者」は「初診または再診患者」の記載に修正すること。また、「調査担当者」は「研究者」などの記載に修正すること。

- ・申請書 6.6 研究期間について、開始は「2026 年 01 月 08 日」ではなく、「研究実施許可日」となるため修正すること。
- ・申請書 7 について、個人情報が出ないようにどのような対策を講じるか、まで記載すること。
- ・申請書 13.2.2 の E 被験者等から得た同意の内容について、情報を研究終了日から 5 年／結果公表日から 3 年（いずれか遅い日）まで保管し、将来別の研究に二次利用する可能性があることなどを記載すること。
- ・申請書 13.2.2 の F 保管の際の匿名化の方法について、「匿名化し対応表を作成する」を選択し、理由は「研究参加拒否の申し出があった際に特定するため」などと記載すること。
- ・計画書表紙の作成履歴について、改訂や改正の履歴を追記すること。
- ・計画書のヘッダーについて、「観察研究用研究計画書 テンプレート」のところは研究課題名を入れ、version は作成履歴と合わせる。
- ・計画書 0.1 の 1 つ目の箱について、「～診断した～」は主語が対象者なので「～診断された～」が適切と思われる。確認のうえ修正すること。
- ・計画書 0.3 と 3 は母集団、適格基準、除外基準となるよう、項目と記載を統一すること。
- ・計画書 0.3.1 適格基準について、対象期間は 2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日と思われるため確認のうえ修正すること。「初診および再診患者」の記載は、「初診または再診患者」に修正すること。（研究実施許可前の症例は許可日以降に本人から文書による同意を得た患者とする。）の記載は不要のため削除すること。
- ・計画書 3.1 母集団および 3.2 適格基準について、「初診および再診患者」の記載は、「初診または再診患者」に修正すること。
- ・計画書 3.2 適格基準について、口腔白板症の「口腔」は削除すること。
- ・計画書 0.3.2 および 3.3 除外基準について、調査担当者は「研究者」などに修正すること。
- ・計画書 0.4 予定登録数について、100 人と記載があるが、60 人と思われるため修正すること。
- ・計画書 0.4 登録期間について、～2031 年 3 月 31 日ではないか。5.4 と齟齬があるため、修正すること。
- ・計画書 5.3.1①について、2 行目に削除した履歴（取り消し線）が残っているため、「口腔」を削除すること。
- ・計画書 5.3.1①について、「初診および再診患者」の記載は、「初診または再診患者」に修正すること。
- ・計画書 5.3.1③および④について、事前審査の指摘に対して「単離培養した検体から DNA を抽出し、DNA ライブラリを調整する。配列測定を行い、データ解析を行う。E-カドヘリンと N-カドヘリンが悪性度の指標として有用であるかを検討する。」が追記されたが、E-カドヘリンと N-カドヘリン以外は調べないということか。NGS 解析や細胞培養について、方法や取扱いなどを具体的に記載すること。
- ・計画書 6.2 について、「等」として省略せず、すべて明記すること。
- ・計画書 7.6 の遺伝カウンセリングについて、事前に担当者に確認をとってから研究を行うこと。
- ・説明文書 11 遺伝カウンセリングについて、担当者まで記載すること。
- ・同意書および同意撤回書の宛名について、「岩手医科大学附属病院 病院長」「岩手医科大学附属内丸メディカルセンター センター長」となるように各文書修正すること。

13)

受付番号	MH2025-127
課題名	非侵襲的 6 軸力覚センサを活用した静脈内鎮静からの覚醒度定量評価
申請者	生理学講座病態生理学分野 教授 黒瀬 雅之
研究統括責任者	口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野 教授 佐藤 健一
主任研究者	口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野 教授 佐藤 健一
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2 名の倫理委員会委員（高橋寛副委員長、廣瀬清英委員）による書面審査を行った結果、本課題を承認とした。

【審議内容】

- ・特に意見は寄せられなかった。

承認済み研究課題の実施計画変更・追加申請（1月8日判定分）審査結果

倫理審査委員会規程に基づいた迅速審査により、石垣倫理審査委員会委員長の判断で、以下の申請を承認した。

1)

受付番号	HG2019-007
課題名	腎癌における網羅的な遺伝子探索研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更（2028年03月31日） 文書等の変更（研究計画書、情報公開文書） その他（公共データベース登録に関する追記）

2)

受付番号	MH2019-083
課題名	膀胱癌における腫瘍微小環境の免疫プロファイリング研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更（2027年03月31日）

3)

受付番号	MH2020-088
課題名	岩手県北・沿岸地域住民における心疾患発症登録事業Ⅰ
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 文書等の変更（研究計画書） その他（研究分担者の追加）

4)

受付番号	MH2020-166
課題名	フォンタン関連肝障害発症における肝循環動態の意義 ～後方視的検討～
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更（2028年12月31日） 研究対象（被験者）の人数変更等 その他（症例登録内容の変更（投薬内容と投薬量を追記））

5)

受付番号	MH2020-219
課題名	先天性心疾患における脳性ナトリウム利尿ペプチドと心血管機能との関連
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更（2028年12月31日） 研究対象（被験者）の人数変更等 その他（症例登録内容の変更（投薬内容と投薬量を追記））

6)

受付番号	MH2021-097
課題名	Fontan 術後遠隔期における Holter 心電図と心血管機能の関連
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更（2028年12月31日）

7)

受付番号	MH2021-145
課題名	東北メディカル・メガバンク計画岩手県参加者レセプトデータを用いた喘息症例の抽出に関する妥当性検証
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> その他（課題名、内容の追加）

8)

受付番号	MH2021-152
------	------------

課題名	エクソームシーケンスデータを有する卵巣明細胞癌の RNAseq 解析 (JGOG3017-TR1)
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2027 年 12 月 31 日) 文書等の変更 (研究計画書、情報公開文書)

9)

受付番号	MH2023-078
課題名	クローン病に対する実臨床でのリサンキズマブの有効性を評価 する前向き市販後非介入研究 (APPRISE)
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 文書等の変更 (研究計画書、説明同意文書) その他 (施設再編に伴う実施医療機関の変更)

10)

受付番号	MH2023-094
課題名	左室収縮能低下を伴う高度大動脈弁狭窄症の患者における経カテーテル大動脈弁置換術後の早期収縮能改善の予測因子と予後に関する検討
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2026 年 12 月 31 日) 文書等の変更 (研究計画書、情報公開文書)

11)

受付番号	MH2024-023
課題名	頭頸部癌治療を先行した頭頸部癌・表在型食道癌併存例の内視鏡治療成績に関する多機関共同研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2027 年 3 月 31 日) その他 (移動に伴う学内共同研究者の変更)

12)

受付番号	MH2024-068
課題名	7T 超高磁場 Magnetic Resonance Spectroscopy を用いた小児神経性食思不振症の脳内代謝物質評価
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 文書等の変更 (研究計画書、説明同意文書) その他 (7T MRI 終了に伴う研究計画変更)

13)

受付番号	MH2024-146
課題名	Steatotic Liver Disease の非侵襲的診断アルゴリズム構築と生命予後予測モデル開発：多施設共同後方視的大規模データベース研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究機関の追加・変更 研究期間の変更 (登録期間の変更) 文書等の変更 (研究計画書、情報公開文書)

14)

受付番号	MH2025-051
課題名	LRG を用いた IL-6 阻害剤使用時の関節リウマチ疾患活動性評価に関する研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究機関の追加・変更 研究対象 (被験者) の人数変更等 文書等の変更 (研究計画書、説明同意文書、他の研究機関への試料・情報の提供に関する記録、他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する届出書) その他 (組織改組に伴う記載整備)

以上